

札幌市白石区主催 【難病研修会報告】

事務局長 澤口 勇治

令和4年12月9日（金）札幌市白石区所主催で健康・こども課及び保健福祉課保健師、地域包括支援センター職員を対象に難病研修会が開催され、西成田支部長と二人で参加しました。

研修会は、講師に訪問介護リハビリテーション「湯つとほむ」所長の海岸美子氏をお迎えして始まりました。

講義の内容は・・・

- ・事例紹介？
- ・家族から寄せられる主な相談内容
- ・家族支援の注意点や支援者に求められるもの

【きいてください、看護婦さん】R・ジョンストン

トラベルビー『人間対人間の看護』

ひもじくても、わたしは自分で食事ができません。

あなたは、手のとどかない床頭台の上に、わたしのお盆を置いたまま去りました。そのうえ、看護のカンファレンスで、わたしの栄養不足を、議論したのです。

のどがカラカラで困っていました。

でも、あなたは忘れていました。

付き添いさんに頼んで、水差しをみたしておくことを。

あとで、あなたは記録をつけました。わたしが流動物を拒んでいます、と。

わたしは、さびしくて、こわいのです。

でも、あなたは、わたしをずっとひとりぼっちにして、去りました。

わたしが、とても協力的で、まったくなにも尋ねないものでだから。

わたしは、お金に困っていました。

あなたの心のなかで、わたしは厄介ものになりました。

わたしは、一件の看護的問題だったのです。

あなたが、議論したのは、わたしの病気の理論的根拠です。
そして、わたしをみようとさえなせずに。

わたしは、死にそうだと思われていました。
わたしの耳がきこえないと思って、あなたはしゃべりました。
今晚のデートの前に美容院の予約をしたので 勤務のあいだに、死んでほしくない。

あなたは、教育があり、りっぱに話し、純白のぴんとした白衣をまとして、
ほんとうにきちんとしています。
私が話すと、聞いてくださるようですが、耳を傾けてはいけないのです。

助けてください。
わたしにおきていることを、心配してください。
わたしは、疲れきって、さびしくて、ほんとうにこわいのです。

話しかけてください。
手をさしのべて、わたしの手をとってください。
わたしにおきていることを、
あなたにも、大事な問題にしてください。

どうか聞いてください。看護婦さん。

講義の冒頭、トラベルビー「人間対人間の看護」の詩が朗読され、看護学を習った者は、必ず習っているようで、看護する立場の人の戒めして、今一度、原点に立って仕事にあたっていただきたいと紹介されました。

2022.12.18 記

※この研修会の後、令和5年1月26日(木)には八雲保健所主催で、また、2月13日(月)は札幌市北保健センターの主催で同様の神経難病患者の療養についての研修が開催され、それぞれ役員が参加しました。特に八雲保健所の研修会では山田副支部長がALS患者当事者として講演をいたしました。都市部以外での神経難病患者が置かれている状況を改めて知ることが出来、北海道支部としてどのように支部活動の繋げていくのか課題が課せられたと感じました。